

仕分け結果に対する町の方針

事業名	母子保健事業	第1班
		第8事業

仕分け結果	仕分け人チーム	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●健診未受診家庭のフォローアップと仕組みづくりが必要。 ●子育て、母子保健事業を総合的な掌握と、適切な政策を実施できる交通整理が必要。ぜひ工夫を。また、未受診家庭のケアをしていただきたい。 ●目標が健診率でよいのか。健康に生まれてくる率の追跡が必要。母子家庭の多い寒川町で子供が生まれてくるまで、そして出産後の早い時期の母親への教育が大切ではないか。 ●子育て支援の最も早い入り口は、父親、母親教室だろう。父親、母親教室の参加率を60%、70%と上げていく積極的な努力、改善工夫を。 ●基本的には現行どおりとするが、課題等には、今後ともよりよい方向へ進むよう常に改善意識を持ってあたっていただきたい。 ●健診は医師の費用が9割以上であり、他事業も含め、事業費削減の余地がない。
		不要	0	
		民間	0	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	3	
		寒川町(現行どおり)	2	
	町民判定人	結果	寒川町(現行どおり)	【主なコメント】 ●健診や教室等に参加されない人へのケアは必要。 ●原則現行どおりでよいと思うが、関連する部課の事業内容によっては、統合(合理化)できるものもあるのではないか。
		不要	0	
		民間	0	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	3	
		寒川町(現行どおり)	6	

町の方針	寒川町(要改善)
<p>・父親母親教室は、本事業の最初の入り口ではありますが、22年度の参加率は37.7%と低く、参加率向上(平成32年度参加率60%達成を目標)のための取組を行います。既に、母子手帳申請者へのPRとしてカウンターのポスター掲示や届出書に教室参加の意思確認の設問を設けるなど、見直しを行いました。さらに、24年度に向けて教室の日数や内容の見直しなど、参加しやすい教室となるよう検討を進めます。</p> <p>・本事業の最後の健診となる3歳6か月児健康診査について、健診回数を年12回から10回にしたことにより、受診率が4%低下したため、24年度から受診回数を12回に増やすことを検討し、幼稚園や保育園にも健診を周知して、受診促進を図ります。また、4歳0か月児まで受診可能であるため、個別通知や未受診者訪問による勧奨を実施します。</p> <p>・育児の孤立化や虐待予防のため、未受診者(親子・家庭)の状況把握が必要であるため、未受診者名簿を作成し、他の健診の受診状況・予防接種の有無・各種相談、訪問の履歴・家庭状況等の把握に努めます。22年度に最終的に接触できなかったケースは4件であり、今後は予防接種の案内を通知したり子育て支援課で行う要保護児童連絡会議等において情報提供を行い、関係機関と共に対応を検討してまいります。</p>	